

もりのかせTM Vol.12



森を感じる情報誌——Green Page Akita

緑の募金で
ふせごう地球温暖化



公益社団法人 秋田県緑化推進委員会

〈CONTENTS〉特集●環境と文化のむら 森の名手・名人を訪ねる／2 緑育REPORT／4 秋田県森の案内人協議会／6
GREEN PAGE AKITA／8 Photographこの一枚／10 あきた・緑化の足跡／11 インフォメーション／12

南秋田郡五城目町にある「環境と文化のむら」は、雑木林の里山をはじめ、堤や湿地、小川などがある52haの広大な敷地をもっています。様々な野鳥や植物が生息し、自然体験・学習の施設もあります。

特集

環境と
文化のむら



広大な森で学ぶ、遊ぶ

環境と文化のむら

この一帯は、国の「野鳥の森」に指定されており、バードウォッチングには最適です。広大な林内に散策道が豊富にあり、四季折々に里山散策を楽しめます。また、「自然ふれあいセンター」、「文化の館」、「野鳥観察舎」の各施設では、自然のもたらす恵みや文化についての学習や体験ができます。

一帯は国の「野鳥の森」に指定されている



池にはカルガモ、アオサギ、養生中の白鳥など野鳥が多く集まる。鳥獣保護舎も隣接している。



野鳥観察舎では、野鳥たちに気付かれることなく観察や写真を撮ることができる。

鳥獣保護舎
ケガをした鳥や獣を保護している施設。リハビリ後に放野を行う。

文化の館
この周辺で発掘された縄文時代の土器や奈良・平安時代に使われていた装飾品、香楽面、五城目焼きなどの文化財を展示。

自然ふれあいセンター
至285号

- お手軽コース (愛鳥山荘、里山散策) 1.3km 40分
- 野鳥観察コース (高低差50m) 2.1km 70分
- 山田沢コース (草花、昆虫散策) 2.1km 70分
- 散策路

お問い合わせ
〒018-1723 南秋田郡五城目町上樋口字山田沢156-1
秋田県環境と文化のむら・秋田県鳥獣保護センター
TEL 018-852-2134

施設内には車の乗り入れはできません



愛鳥広場には炊事場、トイレが備わり、キャンプやレクリエーションが行える。

自然ふれあいセンター

鳥獣保護センターも兼ねており、研修室、工作室がある。動植物や昆虫など指導員による案内や解説が受けられる。年間を通して自然観察会や体験教室を開催。
*参加申込・問合せ/TEL 018-852-2202 (指定管理者:むつみ造園土木(株))



コケ玉作り体験



参加者がそれぞれ森林内で採取した幼樹を用いてコケ玉をつくる

愛鳥山荘

国内初の鳥類生態誌「野鳥の生態」を出版した野鳥観察の元祖「仁部富之助」の資料や、野鳥の剥製やパネルを展示。愛鳥週間には特別展示がある。



苗木作り、森づくりに情熱を注いで

令和元年全国苗木コンクールで林野庁長官表彰を受けるなど、国内トップクラスの苗木業者として知られる伊東農園。事業内容は、広葉樹苗、針葉樹苗、コンテナ苗の生産のほか、素材生産を中心とした林業分野にも力を注いでいます。種苗から素材生産までトータルで行なっている企業は全国でも稀です。代表の伊東毅さんは平成二十二年度・森づくり部門で「森の名手名人」に認定されました。毅さんの苗木作り・森づくりへ寄せる思いを伺いました。

スギ苗木作りから広葉樹苗木作りへの転換

伊東農園は、昭和三十一年に父親の勇さんがスギ苗木の生産を家業としたのが始まりです。国の拡大造林政策によって昭和三十年〜五十年頃はスギ苗木が盛んに行われ、苗木生産者にとっては良い時代が続きました。毅さんも昭和五十七年、家業を継ぐために

リターンしました。ところが、拡大造林面積の減少に伴い、スギ苗木が売れ残るようになりまし。今後どうしたらよいか思索する日々が続きましたが、人と違うことをしたいと思っていた毅さん。ある日トングリをみていて広葉樹苗木の生産を思いついたのです。拡大造林のために伐採され続けた広葉樹林が将来は必要になるのでは…と。

技術習得の努力が実り、お客様の信頼を得る

その頃は広葉樹の育苗についての文献や研究事例がなく、独学で研究するも五年ほどは挑戦・失敗の連続。県外の広葉樹苗木生産者を訪ね、自主的に毎年二カ月程泊まり込みで実習を受けました。

毅さんが心掛けたのは、活着率の高い良質な苗木作り。「苗木作りは土作り」と言われるように、土壌肥料や土壌の

状態の維持・改良にも気を配ります。伊東農園の苗は「よく根付いたよ」とお客様から電話や手紙をもらうようになり、信頼できる商品として全国で評価を得るようになりました。毅さんは、「信用を作れば全国から何万本単位で注文がきます。無名の業者が全国に知られるようになったのは、商品の信用を得てきたから」と語ります。

彩豊かな森をめざして

地球温暖化が問題となっている昨今、秋田県では平成二十年度から森林環境税の導入が決まり、以降各方面で森林整備や植林活動がますます活発に行われています。県内向けのブナをはじめとした広葉樹苗木の需要も年々増加しています。

毅さんは、苗木生産者としてこうした活動に積極的に参画して植林活動に協力してきました。「森は本来、動植物が生息し、豊かな生態系を形成し、人は森の恵みを受けてきました。しかし、手入れされずに荒廃していく森が多く、私達の手で健全な森を造林していくことが必要だと考えるようになりました。」と語ります。

素材生産を中心に、森林の保育、森林・立木の買い取り等の林業分野に着手したのも、秋田の山々が豊かな森と



高性能林業機械を投入して素材生産

緑にあふれることを願うこと。我が子のように育てている苗木たちも立派に山で育つて秋田の山を彩豊かにしてほしい：そんな思いで、日々励んでいる毅さんは、子どもの頃、東に森吉山を仰ぎみて清流・阿仁川で遊び自然の中で育ちました。苗木作り、森づくりへの情熱の源は、ふるさとの自然に育まれたようです。

《コラム》苗が結んだ宇宙との縁

平成三年、宇宙開発事業団からスペースシャトル・エンデバー号に搭載、宇宙飛行で研究するケヤキ、カツラ、ミズキの種子を提供してもらいたいという依頼がありました。これを受けて、平成四年、伊東農園の種子約百粒がスペースシャトルに乗り、毛利さんと共に宇宙遊泳をしました。帰還後に茨城県林業試験場などで育苗され、平成十年、その一部は旧合川町の「あじさい公園」の展望台に植樹され、現在すくすくと育っています。

有限会社 伊東農園 伊東毅氏

「森の名手・名人百人」の認定・顕彰について
公益社団法人国土緑化推進機構では、平成十四年度から、新たな国土緑化運動の一環として、森を守り、育て、その恵みを活かすとともに、国民の森づくりへの参画を促す運動として「もりのくに」・「つぼん」運動を展開しており、すぐれた技を極め、他の技術・技能者等の模範となっている達人を、「森の名手・名人」として認定・顕彰してきました。



写真1/種子の採取は良い母樹の選定が重要。毅さん自らが木登りして採取する。写真2/種子の選別作業
写真3/発芽率を上げるために種子を再選する。写真4/苗畑の土壌はふかふかの黒色火山灰土



写真6・7・8/広葉樹は20種以上、スギ・カラマツなどの針葉樹も揃う
写真5・9/苗木の収穫。活着率の高い良い根ができた



伊東毅さん

- 秋田県指導林家
- 秋田県林業普及協力員
- 国土緑化推進機構「森の名手・名人」
- 「秋田県多樹種種苗供給センター」代表
- 緑化推進ボランティア「グリーンメイク（清流を守る会）」発起人
- 大館北秋田地域林業成長産業化協議会幹事
- 同協議会再造林推進部会長

有限会社 伊東農園
〒018-4221 北秋田市下杉字狐森84
苗木・流通生産部
TEL:0186-78-2569/080-5558-8109
環境緑化部(素材生産等)
TEL:0186-84-8578



《緑育REPORT》

仙北市立神代小学校
令和元年度 全日本学校緑化コンクール
準特選

美しい自然に恵まれた秋田県では、古くから学校林等を中心にした森林環境教育が盛んです。緑にふれることによって、子どもたちの環境への理解が深まるとともに、豊かな人間性を育む……そんなすばらしい教育活動を実践している小中学校を紹介するシリーズです。

北に秋田駒ヶ岳を望み、玉川・松木内川に囲まれた豊かな田園地帯。この自然に恵まれた地域に立地する神代小学校は、昭和四十年代から今日まで花壇や緑化活動等で数々の賞に輝き、令和元年度には全日本学校緑化コンクールで準特選を受賞しました。今回は、「めざす学校像」を、「花のいのちを育む学園」として宣言している神代小学校を紹介します。

「花のいのちを育む学園」の始まり

神代小学校は、昭和三十八年に梅沢・小松岡崎の三小学校が統合し創立されました。当時の校地は木も花も全く無い殺風景な状況でした。そこで児童たちの健やかな成長を願って、保護者・地域の方々と教職員が協力し、校内の花壇整備活動を開始しました。早くも昭和四十二



見事な花壇の花々と「めざす学校像」の石碑が訪れる人を出迎える

年には「花いっぱい運動」の優秀校として受賞、その後も毎年のようにコンクールで受賞し、「花の学校、環境の素晴らしい学校」として知られるまでになりました。

「わかあゆグループ」活動

創立以来の児童たちへの熱い思いが込められた「花のいのちを育む活動」は脈々と受け継がれ、神代小の教育の特徴の一つとなっています。



全校児童が班に分かれる「わかあゆグループ」。5・6年生が苗の植え方を説明。プランター栽培に限らず、全ての児童集会、日常の清掃などでこのグループを基本に活動。5・6年生はリーダーとして成長していき、下級生は上級生を見習って自立していくことが期待される。

日常の取組として縦割りグループ「わかあゆグループ」での活動(異学年交流活動)があります。これは環境委員会の五・六年生がリーダーシップを執って、花壇のデザイン計画を立てたり、苗植えや水遣り、雑草取りなどの活動をグループ単位で行うものです。

グループ活動は児童たちが主体的に活動を進めます。リーダーとなった子どもの中には活動を通して自信を付け、貫禄さえ感じられるまでに成長がみられたケースもあるそうです。

感性豊かに育まれる児童たち

プランターや花壇は「わかあゆグループ」、ひまわりロードは四年生、ジャンボ・ヒマワリは三年生、ブルーベリーは一・二年生、学校菜園は各学年部…と校内での活動は割り当てられています。

他に総合的な学習の時間では、神代地域運営体との連携活動として、三年生のイブリガッコ作り・販売体験、五年生の稲作・栽培・収穫・販売体験、六年生の秋田内陸線応援・田んぼアートづくり体験が行なっています。

また、地域の多様なご協力とご理解があり、PTA施設部から耕起・除草作業などの奉仕事業をしていただくなど、学校・PTA・地域の連携で児童たちが育まれています。



草取りを呼びかける5・6年生



登校すると真っ先に水遣りする児童たち



PTA施設部による耕起・除草作業



花の苗植えは「いのちを育む」活動の第一歩

「花のいのちを育む学園」のあゆみ		
昭和	42. 11. 1	花いっぱい運動 優秀校
	44. 10. 17	花いっぱいコンクール 優秀賞
	44. 11. 3	魁新報社主催花いっぱいコンクール 優秀校
	45. 10. 22	全県花いっぱいコンクール 優秀賞
	46. 10. 28	全県花いっぱい運動 優秀校
	48. 10. 18	全県花いっぱい運動 優秀校
	49. 11. 5	全県花壇コンクール 最優秀校
	49. 11. 30	全国花いっぱい小中学校コンクール 全国最優秀賞 自治大臣賞
	50. 10. 22	全県花壇コンクール 県教育長賞
	52. 11. 4	全県花壇コンクール 優秀賞
	53. 11. 2	全県花壇コンクール 優秀賞
	55. 11. 11	全県花壇コンクール 県教育長賞
	56. 9. 5	全県「花の広場」へミニ花壇を展示
	56. 11. 12	全県花壇コンクール 特別優秀賞 県教育長賞
	59. 10. 6	全県花壇コンクール 特別優秀賞
	62. 10. 27	全県花壇コンクール 優良賞 戸嶋寧治氏 功労賞を受賞
	2. 11. 17	全県花壇コンクール 優良賞 吉村直氏 功労賞を受賞
	8. 10. 30	全県花壇コンクール 特別優秀賞 県教育長賞
	9. 10. 28	全県花壇コンクール 県教育長賞 モデル花壇指定(2年間)
	12. 11. 1	全県花壇コンクール 優秀賞
	15. 10. 30	全県花壇コンクール 優秀賞
	16. 10. 20	全県花壇コンクール 優秀賞
	17. 10. 20	全県花壇コンクール 優秀賞
	18. 11. 1	全県花壇コンクール 優秀賞
	28. 9. 1	秋田県学校関係緑化コンクール 東北森林管理局長賞
	29. 9. 1	秋田県学校関係緑化コンクール 知事賞(全国審査に推薦)
	30. 9. 3	秋田県学校関係緑化コンクール 東北森林管理局長賞
	1. 9. 9	秋田県学校関係緑化コンクール 知事賞(全国審査に推薦)
平成	2. 3. 10	全日本学校緑化コンクール 準特選 学校環境緑化の部



秋田県

森の案内人協議会

Vol.1

森の案内人って!?

県の育成・認定

秋田県森の案内人は、県民の皆さんと野外に出かけて行き、一緒に森の環境に浸って頂きます。植物や木に触れて実感してもらおうことで、森・樹木・自然環境への興味を誘う、そんな森先案内人です。

豊富な得意技

案内人である以上、秋田県の森林や林業を広く知っていただければなりません。全てを知っているというのは到底難しいことですが、それぞれの森の案内人は得意分野をもっております。木工クラフト技術、森づくり作業、自然動植物の観察、里山文化・生活・遊び：様々な得意分野に秀でている森の案内人がいます。ですから多様な案内メニューのご要望にお応えできるよう対応しております。もちろん、私たちは、山・森・自然が大好きな集団です。自らも山に出向き森林に浸り、あるいは森づくり作業を楽しんでいます。

私たちは、秋田県が森林・林業の魅力に誘う担い手として平成八～十年にかけて育成・認定した森の案内人です。総勢六十名からスタートしました。私たちの思いを多くの県民の皆さんにPRしようと平成九年に秋田県森の案内人協議会を組織し、現在まで二十三年間、幼稚園、小中学校などとともに活動してまいりました。

楽しい活動が盛り沢山

年間の活動計画としては、森林学習交流館(秋田市河辺戸島)で行う「森の学校」のメニューに参画協力しています。今年にはコロナ禍でいくつもの予定していた活動が中止された中、春には「しいたけ植菌体験」を行い、安全作業指導、シイタケの成長についてお話をしました。この「しいたけ植菌体験」は大変人気のあるメニューです。親子連れが多く、お子さんも親御さんも、共に夢中になり汗を流してシイタケドリルによる穴あけ作業をしています。



自然観察・森の中で子どもたちは生き生き



しいたけ植菌体験

例年ですと春には秋田駒ヶ岳の登山案内をして春の息吹を感じます。今年夏休みに入って八月一日(土)には、「森と木の生活塾」を行いました。これは森の案内人などがそれぞれの得意なスキルを持ち寄って、山間の生活でよくみられる作業や趣味、遊びなどを行う体験イベントです。

まずはアルプホルンを高らかに奏でスタート、その後は様々なブースでの体験です。テントを張るためのロープワークも学びます。チェーンソーで丸太切のデモ

ンストレーション。杉材を使った状差しや、椅子、ペンダント、竹トンボなどを作る木工クラフトコーナー。季節の山菜ミズ(ウワバミソウ)の皮筋取り作業の体験。香り豊かなクロモジ茶コーナー。森の物語の紙芝居。森の散策や森林浴、森のゲーム。沢山のメニューで一日を楽しんで頂きました。森や自然の中で子どもたちは自由に精一杯動き、遊びや体験が子供たちを生き生きとさせるのです。

随時ご要望受付しています

このほかに、(公社)秋田県緑化推進委員会が行う緑の募金活動への協力、多くの学校などから依頼される出前森の案内を年間通じて行っています。ご興味・ご要望のある方は是非「一報ください」。



森と木の生活塾



チェーンソーで丸太切



クラフトコーナー



ミスの皮筋取り体験



アルプホルン



森の紙芝居

森に遊び森に学ぶ「森の学校」

「森の学校」は秋田県林業学習交流館ブラザクリプトンで開催しており、毎年4月～翌年3月、四季折々様々な楽しい森の体験ができます。

私たち「森の案内人」も、「森の学校」のメニューに参画協力し、森林学習交流館を拠点として活動しております。

「森の案内人」「森の学校」/お問い合わせ

秋田県森の案内人協議会

〒019-2611 秋田市河辺戸島字上祭沢38-4
秋田県森林学習交流館 ブラザクリプトン内
TEL 018-882-5009 FAX 018-882-4821



秋田県林業学習交流館
ブラザクリプトン

緑を楽しむドライブ
通称「ニーパーゴ」は見どころふんだん!
あきたリゾートライン

《その1》潟上市～井川町～五城目町～上小阿仁村～北秋田市(森吉地区)

飯田川町の国道7号分岐点から鹿角市の十和田インターまでを結ぶ国道は「あきたリゾートライン」という愛称が付いています。通称「ニーパーゴ」として親しまれ、沿道には見どころが多く、楽しいドライブ・ルートです。



【作品名】井川ゴリ山/巨大なゴリラは触ったり、よじ登ったりして楽しめる。

井川町

広大な公園で200種の桜と彫刻作品を鑑賞 日本国花苑

日本各地から集められた桜200種2000本を、2年がかりで植樹。桜の総面積は約40haにも及びます。桜の他にも、バラやツツジなども植栽されており、四季折々の花が楽しめます。園内には、遊具を設置したチビッコ広場をはじめ、バターゴルフ、グランドゴルフ、テニスコートなどの有料運動施設や男鹿の山々を見渡せる浴場(有料)も完備。また、平成12年から実施されている、彫刻コンクールの受賞作品41基が展示されていて、季節の花々と共に楽しめます。

南秋田郡井川町浜井川字2階102-1



【作品名】桜並木の人々/周囲の風景を反射するステンレス材を使用。

潟上市

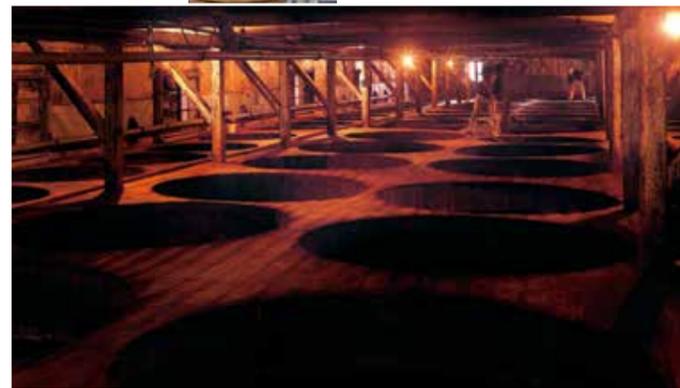
明治12年創業 小玉醸造株式会社の蔵見学

秋田を代表する酒・味噌・醤油の醸造元で、創業当時の面影を残す歴史あるレンガ造りの蔵が立ち並ぶ様子はまさに圧巻。日本酒や味噌・醤油の醸造工程などを見学できます。

潟上市飯田川飯塚字飯塚34-1
見学/無料 1日2回 11:00～14:00～(所要時間 約30分) 団体は要予約 TEL 018-877-5772 (10:00～16:00 受付) 当日申込可能
休業日▶12月31日～1月3日、8月13日～15日



売店では蔵元限定品も販売

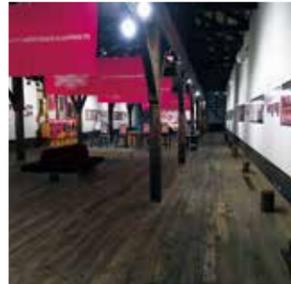


歴史ある醸造蔵を見学できる

酒蔵をリノベーションしたギャラリー ブルーホール

小玉醸造の日本酒貯蔵庫(大正11年建築)を利用して開設したもので、通年で写真展示や演奏会などイベントが開催されています。

潟上市飯田川飯塚字飯塚34-1
TEL 018-877-5772
10:00～16:30(最終入館 16:00)
休館日▶12月31日～1月3日、8月13日～15日
入場料▶一般 300円、中高生 100円、小学生以下 無料



館内は秋田杉の香りが漂う木の空間

色とりどりのスイーツ

パティスリー パルテール

小玉醸造の1本道路を挟んだ向かいにあり、旬の果物をたっぷり使った色鮮やかなタルトやケーキ、ランチが楽しめます。

潟上市飯田川飯塚字家ノ越47-3
TEL 018-893-5085
10:00～18:00(火曜日定休)



五城目町

500年の伝統 五城目朝市

豊かな自然に恵まれた地元の新鮮な野菜や山菜、きのこなど、野趣豊かな商品が並びます。開催日が日曜日にあたる日は「ごじょうめ朝市plus+」として若い世代や話題のお店が出演しています。郷土料理・だまこ鍋などの販売コーナーもあります。「五城目朝市ふれあい館」は、休憩コーナーを備えた交流・観光施設です。

五城目町下町通り(通称 朝市通り) 五城目朝市駐車場あり
開催時間▶7:00～正午
開催日▶毎月下一桁に2、5、7、0がつく日(日曜日にあたる日は「ごじょうめ朝市plus+」
臨時市▶5月4日「祭市」、8月13日「盆市」、12月31日「歳市の市」
イベント▶山菜まつり(5月中旬)、市神祭(6月中旬)、「みずたたきまつり(7月中旬)、きのこまつり(10月中旬)、あったか鍋まつり(2月中旬)



遠方からも買い物が客が訪れて賑わいをみせる



「ふれあい館」は気軽に休憩ができる



町のシンボル 五城目城(森林資料館)

森山森林公園内にあり、最上階から望む風景は絶景です。散策路には観音像やご詠歌にちなんだ石碑が建っており、ウォーキングや自然観察を楽しむことができます。内部は森林資料館になっており、町や林業・木材の歴史、町の木工製品などを紹介しています。

南秋田郡五城目町字免品沢62-2 TEL 018-852-3110 入館無料
開館時間▶4月1日～10月31日 9:00～17:00/11月1日～11月30日 9:00～16:00(12月1日～3月31日は休館)



城の最上階から絶景が広がる

上小阿仁村

林野庁選定 「森の巨人たち百選」コブ杉

上大内沢自然観察教育林には、樹齢260年を超える天然秋田杉をはじめ約700本の秋田杉が群立しています。その中に、根元から2mほどのところに巨大なコブ状の突起がある「コブ杉」と呼ばれる杉があり、村のシンボリック的存在となっています。

北秋田郡上小阿仁村大林(駐車場から徒歩約15分)



秋田杉とコアニチドリの里 道の駅 かみこあに

物産センターでは、「こはぜ」や「食用ほおずき」などの特産品、新鮮な野菜や果実、山菜などを販売しています。

山野草「コアニチドリ」は最初に発見されたのが上小阿仁村で、様々な山野草とともに展示即売しています。(販売:5月～7月)
お食事処「秋田杉の館」では、地元の名物料理馬肉のメニューなどが楽しめます。

北秋田郡上小阿仁村小沢田字向川原66-1 TEL 0186-77-3238
営業時間▶物産センター 9:00～17:30(12月～3月は17:00まで)、秋田杉の館(食事処) 10:00～18:00
定休日▶年末年始(12月31日・1月1日)



馬肉を用いたメニューが人気 季節ごとの山野草を展示販売

北秋田市

作曲家・成田為三を知る 浜辺の歌音楽館

名曲「浜辺の歌」や「かなりや」などを作曲した成田為三。為三の音楽活動の歴史と業績を紹介。為三の歌曲や日本の代表的な歌曲を聴くコーナーもあります。

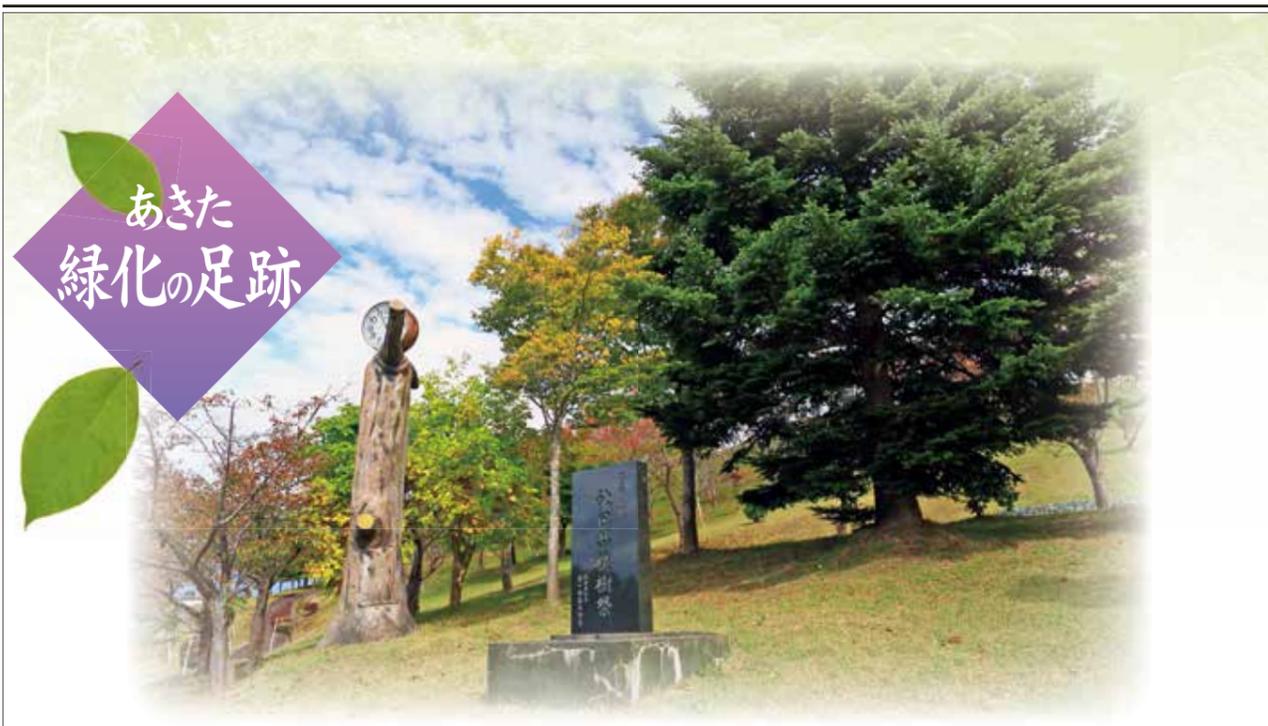
北秋田市米内沢字寺の下17-4
TEL 0186-72-3014 入館無料 10:00～17:00
休館日▶月曜日(月曜日が休日の場合はその翌日)・12月29日～1月3日



為三のロボットが代表曲を自動演奏



当時のレコードや譜面、為三の生涯などを展示解説



あきた
緑化の足跡

昭和62年5月15日
第38回秋田県植樹祭開催地 — 大森公園《現横手市》

旧大森町大森公園（現横手市）に於いて、昭和62年5月15日に第38回秋田県植樹祭が開催されました。

参加者には丸山完副知事、阿部勝行大森町長他、1800名です。植樹祭のメインテーマは「育てようぼくらの森 21世紀の森」。

式典会場は大森町立体育館。緑の少年団員と大森町内保育園児たちが、キジ20羽と風船を放ちました。

植樹木はソメイヨシノ、ツツジ類、ケヤキ、コブシ、ツバキ等400本。

植栽地周辺は大森リゾート村として管理され、生育状況は良好です。

大森リゾート村は緑豊かな出羽丘陵に広がる静かな保養地で、各種のスポーツ施設とレクリエーション広場が一体となり、家族でゆっくりとくつろぎ自然とふれあいながら楽しく遊べるようになっています。体育館、野球場、テニスコート4面（全天候性）、グラウンドゴルフ場、ゴルフ場18H（民営）等のほか、隣接して200人収容の温泉宿泊施設さくら荘、コテージがあります。

エリア内にある大森公園は桜の名所として知られ、雄勝・平鹿・仙北の眺望は新秋田三十景の一つに数えられています。この公園は戦国時代の小野寺氏の城址で、明治34年、旧大森町に町制施行されたことを記念し、桜約千本が植えられて整備された歴史を有する公園です。そのため巨木が多く、趣がある公園です。

緑あふれるエリアでリゾートを楽しむ、生長した植樹木を訪ねてみましょう。



森林浴、スポーツ、温泉…多様に楽しめる大森リゾート村



巨木が多く趣がある大森公園

Photograph
この一枚
帝釈寺のケヤキ
【南秋田郡五城目町】

馬場目川に沿って延びる県道15号を行くと、帝釈寺集落付近で県道脇に大杉の姿が見えます。さらに、その間近の山裾に目をやると、幅広の樹冠を戴いたケヤキの大樹が見られます。このケヤキは、推定樹齢七百年、樹高三十m、目通り周囲九六m、秋田県では第三位の幹周りを誇り、町の天然記念物です。地上約二mあたりから四方八方に分枝し、樹勢盛んで大変美しい姿を見せています。

江戸時代の記録にはこの木の根元から金剛仏が出土したとあり、根元の祠に納められています。この地は、かつての天台宗の寺院、帝釈寺の跡地であり、その名が集落名に残ったもの。道路脇の大杉が佇んでいるところには廃寺となった帝釈寺参道入口がありました。今はなき帝釈寺のありし日の姿がしのべれます。今はこのケヤキを中心に据えた緑美しい農村公園になっています。



おかげさまで創立50周年を迎えました

— 災害に強い安全安心な県土、そして安らぎの環境づくりのために —

当社は秋田県の森林土木事業を補完する機関として、森林の保全や林業生産の向上を図るための調査・研究、測量・設計等の業務を行って参りました。今後とも、職員一丸となり、林業の振興と県土の保全に寄与できるよう努めてまいります。



創立50周年
テーマ

躍進

令和2年10月13日、創立50周年式典挙

行 御来賓、参加者の皆様、誠にありがとうございました。

◆記念講演 東国原 英夫氏（元宮崎県知事）
演題／「地方から国を変える」



大曲高校書道部員19名のみなさんが書いてくださった
お祝いのメッセージ



一般社団法人 秋田県林業コンサルタント

〒010-0941 秋田市川尻町字大川反170-169
TEL. 018-865-1133 FAX. 018-865-1134
http://www.akita-forest-con.or.jp/



県緑化推進委員会の主な事業

「緑の募金」運動の推進 緑の募金運動を広く展開し、寄せられた善意を主な原資として次のような事業を推進しています。

- **地域緑化活動の推進**
市町村等が行う緑化イベントへの支援
- **緑化思想の啓発**
チラシ、看板、キャンペーン、機関誌発行、緑化関係表彰
- **県民参加の森づくり推進**
森林祭等開催、市民グループ森づくり活動支援
- **森林ボランティア育成**
ボランティア活動支援、リーダー養成
- **緑の少年団等育成**
交流集会、学校緑化コンクール、学校緑化活動支援、子供木づかい体験
- **名木・古木等の保護**
診断、調査の支援
- **国土緑化運動**
国土緑化推進機構連携事業、緑と水の森林ファンド活用事業

※秋田県緑化推進委員会は、国土緑化推進機構・各都道府県緑化推進委員会と連携し、緑の募金による東日本大震災・熊本地震被災地のみどりの再生支援を行っています。

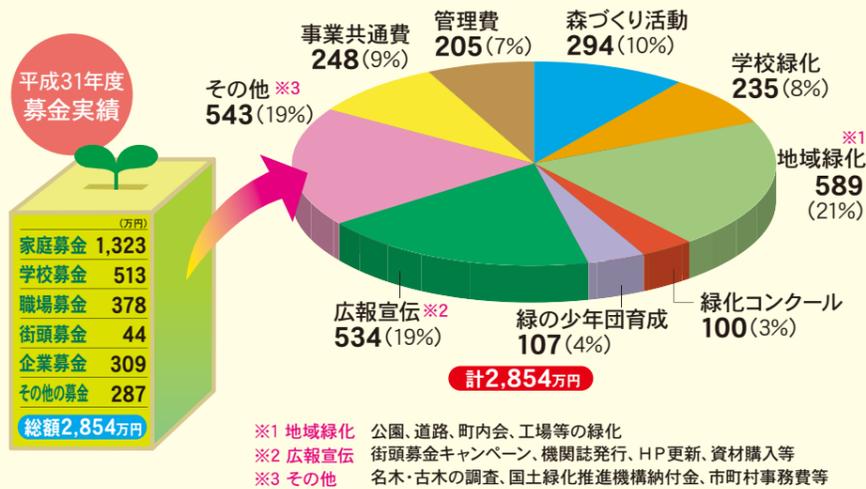
ダイドードリンコ(株)では、
環境貢献として飲料自動販売機による「緑の募金」活動に協力しております。

「緑の募金自販機設置」のお願い
新規設置の自動販売機が対象です。設置、ご紹介の協力をお願いします。

目印はこのパネル!!
この自動販売機の収益金の一部は、「緑の募金」に寄付されます。



緑の募金は、このように活用されました!



TOPICS1

下刈りと笹舟づくりに挑戦 (秋田市立中通小学校)

新型コロナウイルスの影響で、県内各地のイベントが相次いで中止となる中、移動中の「密」を避けるため大型バスを追加するなど、考えられる対策はすべて講じ、中通小学校の林業体験学習が行われました。

同校は、秋田市内の中心部にあり、森林にふれあう機会が少ないことから、子どもたちが自らの体験を通して森林・林業の役割や大切さを学ぶ「林業体験学習」は、環境教育としてばかりではなく、自然の中で生きる力を育む機会として大きな意味を持っているといえます。

9月15日、青空が見え隠れするも小雨がパラつく変わりやすい天気でしたが、小学校グラウンド脇には5年生児童36名と先生4名、東北森林管理局から3名、森の案内人5名、県緑化推進委員会1名の総勢49名が集まり、予定どおり8時40分に出発。途中、伏伸の滝で秋田森林管理署(共同主催者)12名と合流し、ここで開会式や準備体操が行われました。

下刈りは、同校の先輩が植えた林地で行うのが「慣わし」で、今回は5年前に当時の5年生がスギを植

えた場所で行われました。秋田森林管理署の職員から実演を交えた丁寧な説明を受け、ヘルメットに防蜂ネットを装着。さっそく鉈鎌を手にしてチャレンジです。児童2名に指導者1名の3名が1チームとなり、藪状の野原は1時間ほどで整然としたスギ林地に生まれ変わりました。



下刈りにチャレンジ



「森の案内人」さんによる森林教室



ササ舟にどんぐりを乗せて…

平成6年に始まったこの体験学習は今年で27回目を迎え、同校の魅力を象徴する活動の一つです。開催が危ぶまれる中、先輩からのバトンを来年に繋ぐことができたことは、児童や学校、関係スタッフにとって大きな収穫であり、当委員会の主催事業において令和2年度の数少ない明るい話題の一つとなりました。

TOPICS2

大仙市立豊成中学校が東北・北海道地区緑化功労賞を受賞



十六沢城址緑地公園で高枝切りのボランティア活動を実施

令和2年度東北・北海道地区緑化推進協議会の総会が10月30日に開催され、大仙市立豊成中学校(藤原修悦校長)が教育機関としては初めて緑化功労賞を受賞しました。同校は、十六沢城址緑地公園における環境学習や森林ボランティア活動のほか、保育園との合同植樹による世代間をつなぐ取り組み、造園及び製材業との地域交流などにおいて、特に平成27年度からの継続した取り組みが、地域を創る緑化活動として高く評価されました。また、生徒の活動はもとより、学校(先生)の取り組み姿

勢や企画力、地域との協働や支援体制においても模範事例として特筆すべき点が多く、受賞に大きく貢献しました。



間伐した木を利用し、ほだ木作りに挑戦(1、2年生)

もりのかぜ

Vol.12

編集・発行

令和2年10月30日(金)発行

公益社団法人 秋田県緑化推進委員会
〒010-0941
秋田市川尻町字大川尻170-169 森林環境会館内
TEL 018-883-0815 FAX 018-883-0816
[Eメール] akiryoku@estate.ocn.ne.jp
URL http://akiryoku.ec-net.jp/

制作

有限会社 パレア

〒010-0942 秋田市川尻大川町2-8
TEL018-896-7225 FAX018-883-0004

編集後記

▼令和2年、東京オリンピックの開催年で全国がお祭りムードにある中、いきなり新型コロナウイルスが全世界を席巻した。県内でも人の集まるイベントが相次いで中止。春の風物詩である駅前アゴラ広場での「街頭募金」、森林林業関係者が一堂に会する「水と緑の森林祭」、未来を担う子供たちの「緑の交流集会」等々、歴史ある主催行事が次々と見送られた。▼イベントがないのでヒマかというところでもない。予定行事のキャンセルや代わりとなる催しの検討、そしてコロナ対策である。こういう時こそ「応用力」が試されるのだ。▼想定外の業務は神経の減りが著しく早い。気分転換に食事や温泉などを、ついつい思い浮かべてしまう。しかし、雇った時の周りへの「迷惑」と周りからの「目」を考えると出掛けられなくなってしまいます。▼考えあぐねた末、一つの結論に達した。行く先は本県の豊かな大自然だ。フィッシュがコロナウイルスをやっつける? さあ、みんなで紅葉刈りやなべっこ遠足に出かけよう!(T.K)

みんなが森林の応援団!! 緑の募金

への協力と森林づくりへの参加をおねがいます。
■緑の募金は、地域の環境緑化活動や森づくり活動への支援に使われます。



実施主体 / (公社) 秋田県緑化推進委員会
市町村・市町村緑化推進委員会

緑の募金でふせごう地球温暖化



木造住宅にも、 JAS 製材品を使いましょう

JAS

JAS製材品は、品質・性能を明らかにして出荷された製材品です。この製品は、「日本農林規格等に関する法律」(JAS法)に基づき認証されたJAS工場で品質管理及び格付のための検査・試験を行い消費者の皆様を提供されており、安心してお使いいただけます。

JAS製材品は、品質・性能が明確!! ～だから、安心です～

製材の品質・規格の概要

樹種	樹種名を表示	スギ、ヒノキ、カラマツなど木の種類を表示
種類	目視等級区分 構造用製材の 用途による区分	梁(はり)、桁(けた)などの横に使用されるものは「甲Ⅱ」 柱など縦に使用されるものは「乙」と表示
等級	目視等級区分	目視で節、割れ、曲がりなどを評価して1級、2級、3級の3区分に表示(★★★★、★★、★) (注)樹種、区分(甲Ⅰ、甲Ⅱ、乙)、等級ごとに、国土交通省の告示で基準強度を規定(構造計算にわたる強度)
	機械等級区分	機械等級区分装置(格付の場合は曲げ試験装置)で強度(ヤング係数)を測定し、等級区分(E50~150)を表示 (注)等級区分、樹種ごとに、国土交通省の告示で基準強度を規定(構造計算に使われる強度)
寸法	木材の木口の短辺、長辺及び材長	正確な寸法を計測表示
乾燥	木材の乾燥度合(含水率)	含水率計で計測(格付けの場合は全乾試験)してSD(かんな掛けした乾燥材) D(鋸挽きしたままの乾燥材(表面が未仕上)) 15、20、25という含水率を表示

目視等級区分による表示例

樹種名 **スギ**

認証機関名

種類	乙
等級	★★
寸法	○ × ○ × ○ ^{mm}
乾燥	SD20

製造業者名
○○製材株式会社
製材工場

機械等級区分による表示例

認証機関名

スギ

SD15

mm mm mm

120 × 120 × 3000

E90

mm

○○製材株式会社

製材工場

《お問合せ先》 秋田県木材産業協同組合連合会

〒010-0003 秋田県秋田市東通二丁目7-35 TEL:018-837-8091 / FAX:018-837-8093 <http://a-mokuren.jp>